

社会調査の基礎

問題 84 次のうち、統計法における基幹統計調査として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会福祉施設等調査
- 2 福祉行政報告例
- 3 介護サービス施設・事業所調査
- 4 労働安全衛生調査
- 5 国民生活基礎調査

問題 85 社会調査における倫理に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査の対象者の抽出では、住民基本台帳から制約なく個人情報閲覧できる。
- 2 調査の協力は自由意志であるので、対象者への調査に関する説明は不要である。
- 3 社会調査では、対象者に調査協力の謝礼を渡すことが不可欠である。
- 4 調査前に対象者の協力同意書があっても、調査の途中又は調査後の対象者からのデータ削除要請に応じることが求められる。
- 5 仮説に反した調査結果が出た場合、調査結果の公表を差し控える必要がある。

問題 86 次の事例を読んで、S県が実施した標本調査の母集団として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

S県内の高校に在籍している全ての生徒のうち、日常的に家族の世話や介護等を担っている高校生が、どのくらい存在するかを調べるために、標本調査を実施した。

- 1 全国の高校に在籍する全生徒
- 2 全国の高校に在籍する全生徒のうち、日常的に家族の世話や介護等を担っている者
- 3 S県内の高校に在籍する全生徒
- 4 S県内の高校に在籍する全生徒のうち、日常的に家族の世話や介護等を担っている者
- 5 S県内の高校に在籍する全生徒のうち、標本となった者

問題 87 次のうち、質問への回答を他計式で記入する社会調査として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 郵送調査
- 2 留置調査
- 3 個別面接調査
- 4 集合調査
- 5 オペレーターによる電話調査

問題 88 尺度に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 比例尺度では、平均値を算出することができる。
- 2 順序尺度で測定した1と2の差と、3と4の差の等間隔性は担保されている。
- 3 名義尺度で測定した変数は、中央値を求めることができる。
- 4 間隔尺度では、測定値の間隔が数値として意味をもつことはない。
- 5 名義尺度、間隔尺度、順序尺度、比例尺度の順で、尺度としての水準が高い。

問題 89 調査手法としての面接法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 構造化面接では、対象者に語りたいことを自由に話してもらうことが重要である。
- 2 非構造化面接では、調査者は事前に10項目以上の質問項目と質問の順番を設定し、その順番どおりに質問していく必要がある。
- 3 半構造化面接では、インタビューのおおむね半分程度の時間を、質問内容や質問の順番などが詳細に決められた質問紙によって面接が進められる。
- 4 面接調査では、表情や身振りといった非言語表現も重視する。
- 5 グループ・インタビューの調査者は、対象者同士の会話を促さないようにする。

問題 90 社会調査における記録の方法とデータ収集法に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 質的調査で対象者を選定するときには、無作為抽出法を行うことが不可欠である。
- 2 アクションリサーチでは、量的調査でデータを収集することがある。
- 3 ドキュメント分析の対象となるデータには、手紙や日記などの私的文章も含まれる。
- 4 質的調査のデータとしては、画像や映像の使用を避ける方が望ましい。
- 5 フィールドノーツは、調査者の解釈を含めずに作成する必要がある。